

## 令和元年度 第4回 埼玉支部評議会 議事概要

開 催 日	令和元年12月4日(水) 15:00~16:35
開 催 場 所	全国健康保険協会埼玉支部 大会議室
出席評議員	飯塚評議員、石川評議員、遠藤評議員、萱場評議員、小林評議員、齋藤評議員、原評議員、牧評議員 (五十音順)
議 題	<p>1. 報告事項</p> <p>① 令和2年度保険料率について</p> <p>② 令和2年度全国健康保険協会事業計画(案)について</p> <p>③ 令和2年度埼玉支部事業計画(骨子案)について</p> <p>④ インセンティブ制度について</p> <p>⑤ 第2期埼玉支部データヘルス計画の実施状況について</p> <p>⑥ 健康経営推進の取組みについて</p> <p>⑦ トピックス</p> <p>2. その他</p>

議 事 概 要	
1-① 令和2年度保険料率について 〔事務局より説明〕	<p>資料1に基づき説明を行った。</p> <p>(学識経験者) 本部から方向性(保険料率については、状況に大きな変化がない限り、基本的には中長期的な視点で考えていくこと)が示されると、基本的には支部としてはそれを尊重しての議論になるということによろしいか。</p> <p>(事務局) 理事長が立ち位置を表明して、本部運営委員会で決定している。したがって、支部が前提を変えるということはない。ただし、前提は前提としてあるが、仮に47都道府県から「保険料率は中長期ではなく単年度だ」というような意見が出た場合は、協会として再度議論をする可能性はある。</p> <p>(学識経験者) 中長期または短期的な収支の見込みが示されて議論を行うが、料率の決定の際、収支見込み以外の要因をどのように見ているのか。国の補助金や、健保組合の解散といったものの勘案はどの辺りで行っているのか。</p> <p>(事務局) 現在、保険料率が10%を超えている健保組合はたくさんあり、協会けんぽが料率を下げると他の組合から移行して来る可能性がある。料率を下げた場合の諸条件を勘案した上で、中長期</p>

的な立ち位置という立場を明確にしているところである。それに対して、料率引き下げを支持する2支部は、料率は単年度が前提であるという意見を出している。

1-②. 令和2年度全国健康保険協会事業計画（案）について

〔事務局より説明〕

資料2-1、資料2-2に基づき説明を行った。

（学識経験者）

ペーパーレス会議は全国でどの程度広がる想定か。

（事務局）

まだ分からない。基本的には埼玉支部の評議会で1年ほど試行し、運営状況を確認したうえで全国展開が図られる予定である。

（被保険者代表）

オンライン資格確認について、マイナンバーカードを健康保険証として利用できるようなシステムにするということか。マイナンバーカードを使用する利点はなにか。

（事務局）

現状、協会けんぽの資格喪失後に保険証を使用してしまうケースが多いが、オンラインでつながり、受診者が本来どこの保険者に属しているかが分かるようになれば、それが回避できるようになるなど、様々なメリットがある。保険者としてはオンライン化が望ましいが、医療機関側の設備投資やシステム投資が必要となってくる。

1-③. 令和2年度埼玉支部事業計画（骨子案）について

〔事務局より説明〕

資料3に基づき説明を行った。

（事業主代表）

これまでもお話しているが、積み上がっている準備金を加入者に還元したり、協会けんぽの体制強化に使ったり、支部の予算の中でできることがあるのではないかと。来年度で何か考えていることがあれば教えてほしい。

（事務局）

今回、支部保険者機能強化予算という運用の幅のある予算措置がされており、その枠内で支部独自の取組みができるようになっている。来年度も引き続き、「糖尿病重症化予防」「集団健診とがん検診の同時実施」など各種保健事業に多く予算を充てている。なお、詳細は次回評議会にて説明させていただきたい。

1-④. インセンティブ制度について

〔事務局より説明〕

資料4に基づき説明を行った。

(学識経験者)

検証結果というのは、インセンティブ制度だけの議論の場があって、その中での検証結果ということか。

(事務局)

本部での運営委員会の中で、このインセンティブ制度が議題の一つとして扱われている。

(事業主代表)

インセンティブ制度の理解度が9%と記載があるが、どこでどう調べた9%なのか。

(事務局)

毎年、理解度調査を実施しており、その調査結果である。

(事業主代表)

理解度調査は加入者及び事業主に対して取り組んでいるとあるが、調査の対象は誰か。

(事務局)

各県 150 件程度のアンケート調査で事業主を含め加入者が対象となっている。

(被保険者代表)

埼玉支部がインセンティブを受けられる可能性はあるのか。

(事務局)

率直に申し上げると、今の評価体系では大規模支部は厳しい。現状の評価体系で大規模支部が減算対象となった場合に、加入者が多いため、割合が少なくなる可能性がある。まだ始めたばかりのため、評価の見直しについて来年度は行わない見込みとなっているが、今後いろいろな形で見直しは必要と考える。

(被保険者代表)

「うちはちゃんとやっているのに」という事業所の不満が出てくるのでは。保険料率をどうするかという議論がある中で、たとえ十何円だとしても気分の悪い人は多くいると思う。

(事務局)

この点については、協会けんぽとしても問題意識をもっている。国の施策として行っているが、取り組みを行っている・いないに関わらず、埼玉県にいただけで一律に評価されてしまうというのは公平感に欠けると認識しており、厚労省に対して伝えているところ。

(学識経験者)

偏差値の合計点で順位を決めるのか。偏差値を見ていくと、どこか一つの項目で大きく稼ぐと一気に上位になってしまうが、これでいいのか。

(事務局)

合計点で順位を決める。大規模支部がインセンティブをもらうのが厳しいというのは、小さい支部だとすぐに上がるが、大規模支部は頑張って上げようとしても、母数が多いので上がらない。評価方法については埼玉支部としても意見を上げていきたい。

1-⑤. 第2期埼玉支部データヘルス計画の実施状況について  
〔事務局より説明〕

資料5に基づき説明を行った。

1-⑥. 健康経営推進の取組みについて  
〔事務局より説明〕

資料6に基づき説明を行った。

1-⑦. トピックス  
〔事務局より説明〕

埼玉県立大学との連携協定締結式やセミナー等の様子を静止画及び動画で紹介した。

3. その他

特になし

特記事項

・次回評議会は1月に開催予定